



松川浦沿いには当時から民宿や旅館、お土産屋がありました。8・9メートルの津波が襲いました。被害は大きく、相馬市の人口は2010年に37,817人の内、458人が死亡。行方不明者は「お上(かみ)」の発表によるとゼロ。全壊589戸

12月経った2月22日 福島の50代男性
性家財の下敷きになり死亡と報道さ
れました。死因は圧迫による窒息死。
一人暮らしでした。なぜ死後12日も
経っているにもかかわらず、だれも
気づかなかつたのでしょうか。独居
者は「無関心」という罪による犠牲
者でした。そんなことがないように
ボランティアは今日も出かけます。

世帯、大規模半壊…62世帯、半壊66世帯、一部損壊41世帯でした。15日に、がれき未処理を探して戸別訪問した尾浜地区は、高台でも瓦が落ちていました。

ことは容易ではありません。「あるサマリア人、その場所に来ると、その人を見て気の毒に思い」とイエス。キリストは語りました。人の苦しみを自己に重ねるようにと迫られたのです。すると自他平等が実現します。

ボランティア道は、コロナ禍にあつて、使命を發揮します。だれしもがしあわせになりたいのです。だれしもが「苦」から逃れたいのです。病、経済、復興から逃れられないなら、その方の人権はずたずたになります。「苦悩」を欲しない権利はみんなもちあわせています。他己の苦を放つておけません。しかし、他者の痛み、苦しみ、怒り、くやしさと共に振し、その方の呻きに感情移入する

が発生。約11時間かけて、夕刻に熊本県球磨郡、人吉市、芦北町の限界集落に到着しました。そこでは、独居の人たちが二階にまで覆われた固くなった泥、異臭、孤独にふるえておられました。そんな心細い人たちにとり、災害支援に大きく立ちふさがつたのは、「県外お断り」の方針でした。ボランティアがぜんぜん来なくなつてしましました。要請してもだれも手伝いに来ない家ばかり。どうにもこうにもやりようのない無力感が現場を覆っていました。（3ページに続く）

神戸国際支縁機構(KISO)季刊誌

【発行人】 岩村義雄 〈携帯 070-5045-7127〉
【事務局】 〒655-0049 神戸市垂水区狩口台5-1-101
Tel(078) 782-9697 Fax(078) 784-2939
E-mail:kiso@mbe.nifty.com
【石巻支所】 阿部とよ子
〒986-2121 宮城県石巻市渡波町3-5-37
【熊本支部】 大島健二郎
〒862-0939 熊本市東区長嶺南4-4-27
【千葉支部】 嶋田博信
〒294-0234 千葉県館山市布良303
年4回 2月、5月、8月、11月
購読料 一部320円+送料80円(年ぎめ 1,600円)

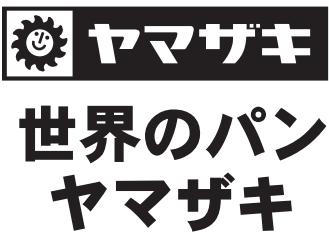
「共苦」が生命線

理事長 岩村義雄

福島県南相馬市余震が続く第115次東北ボランティア
2021年2月13日（土）午後11時7分、福島県沖でマグニチュード7・1の地震発生。福島・宮城で震



福島県相馬市尾浜地区にある船越観音 2021年2月15日



10年で117回を越えた東北ボランティア

地球一周は約4万kmです。玉の肌石鹼株式会社の三木晴雄会長が寄贈くださった3000ccの四駆のディーゼルであるハイエースの1台目は約30万kmを走破しました。したがって、地球7周半したことになります。現在2台目をご提供いただきました。事故を起こすこともなく、北海道から南九州まで現場に急行できたのは被災地の方々との「縁」があればこそです。『毎日新聞』で次のように紹介されました。『なかには就職氷河期世代でニートやフリーターとして厭世的な生き方をしてきた若者もいました。被災地での活動は、「俺でも役に立ったのか」と、自分が社会で何ができるかを問う場にもなりました。そして若者たちの生き様が変わってい

きました。被災地での不条理な死に接し、生きること、死ぬことについて考えさせられたんです。与えるつもりで行ったのが、受ける側になつた。そうした若者が継続的に参加し、東北に今も通い続けています』、と。

何もたいしたことができていません。しかし、かたつむりのように少しずつ「小さくされた人々のため」と共生していくことを願っています。

毎日新聞 2021年(令和3年)3月5日(金)

東北被災支援 10年で115回



『毎日新聞』(2021年3月5日付)

AIC-Japan NEWSLETTER

Vol.18
2020.11



今年は世界中が予想もしていなかった事態に見舞われました。AIC-Japanが支援しているフィリピン、ラオス、インドもロッカダムになり、相手送ぐ子ども達のことが心配でした。例年は新学期までに行う送金も、今年は銀行封鎖の恐れがあったので、貢献を行いました。シスター方の働きおかげで、今のところ子ども達も毎日手洗い消毒を行なっています。引き続き地域とも連絡をとらせてまいります。

岩村先生の感想も掲載させていただきます。マスクもが伝えたい現状をお伝えしたいと思います。

『AIC』ニュースレター (ローマ・カトリック教会)



岩村義雄牧師さまより

コロナ禍のため、3月4日に発生した大宮市などの統計に対するボランティアは削除されたとの報道がありました。私たちとは「心の旅団」と対話を大切にしていました。毎日から回訪問し、施設の看護者などに寄りそっています。

想ふる本番ではなく、2階までの児童も10名すれば右のように絶くなりまます。ドロ出し、おそれき処理、抱えなくなった姫豆などを提出します。気が済くなる作家です。11時頃にかけて井戸から駆けつけています。全国からのご協力に感謝しています。



『百万人の福音』(2021年2月15日 11-13頁)

31年ぶり、
ゼロから翻訳した新しい聖書
『聖書 聖書協会共同訳』
-2018年12月発行-

全国書店にて
好評発売中です
www.bible.or.jp
日本聖書協会



GAUFRES®
ゴーフル

いいものは時代をこえて生き続けます。
ゴーフルは神戸風月堂の登録商標です。425098号

神戸風月堂

URL http://www.kobe-fugetsudo.co.jp

人によし、社会によし、未来によし。

ミヨシ油脂株式会社

〒124-8510 東京都葛飾区堀切4-66-1
http://www.miyoishi-yushi.co.jp

KINSAN

夢に近く
夢を産み出す…

KS 近畿産業信用組合

総合センター

0120-111-019



事務局便り

第18次千葉災害漁ボランティア

2021年4月18日~

18日、今年になって最大の激しい風。漁師さんたちにとりナガモクと言っているホンダワラ、アカモクなどが風速20メートルのため、港を覆っていました。スクリューにからむので撤去作業です。お百姓さんが雑草をとるように、海面に浮かんだナガモクを取り除きます。植物とちがって根っこらしきものはありません。気泡と呼ばれる浮きがついています。プチっと、つぶすと泡がでます。茎が非常に硬く、全体的に青臭いから食べるのには向いていません。雑草と同じように敵のように嫌われていますが、雑草が空気中に酸素を放出し、人間にはかけがえのないのと同じように、海の藻も魚などの産卵の場所であり、稚魚が育つゆりかごの役割をしています。オコゼの子どもがいました。

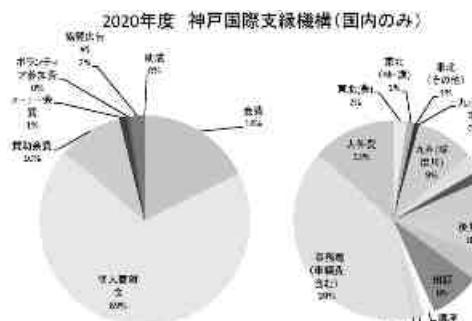


午後は千葉県館山市の「かにた婦人の村」に新井克英カメラマンと一緒に行きました。「慰安婦」の慰靈碑が小高い丘に建っています。日本人「慰安婦」の被害事実を最初に証した城田すず子さん[1921-1993 仮名]の願いが伝わります。深津文雄[ふかつ 1909-2000]牧師が「小さくされた」不幸な女性たちのために逃れのコミュニティを作った場所です。日本人男性のすべては総懺悔すべきと迫られる歴史的に忘れてはならない場所です。



セミナー告知

- 本田哲郎セミナー 毎月第3金曜午前10時~
- 岩村義雄セミナー 每月最終月曜午後6時半~
- 事務局長本田寿久さんは『さくらfm』(2021年4月15日12時20分~)でラジオ放送で災害ボランティアを話しました。



収入の部		支出の部	
内容	金額	内容	金額
被災者支援費	72,113	東北ボランティア 費用	508,915
会費	2,345,700	中部・東海	164,400
個人寄附金	9,136,541	ほか	91,845
賛助会員費	1,307,000	九州(日本)ボランティア	21,450
オーナー会員	160,000	九州(熊本)ボランティア	1,262,297
ボランティア参加費	69,050	千葉ボランティア	400,238
協賛広告費	290,000	その他の被災地	224,601
助成	0	被災地ボランティア	148,025
		被災者ボランティア	86,947
		他団体救援費	537,846
		出張	1,162,405
		調査	227,422
		JOC	131,428
		イベント	10,062
		事務局(手数料含む)	5,338,908
		人件費	1,900,000
計	13,986,354	計	13,501,656
算盤			121,492

救援金、維持会費ご協力を感謝します。(敬称略)

2021年1月24日~4月17日

岩村義雄、神戸国際キリスト教会、池田等&池田裕子、山崎製パン(株)、神戸聖福教会、李敬淑、合同会社 Bless 泉 真姫、土手ゆき子(2)、関 弘典、土手曉,朋,直、久留島琴、青木麻美子、廣瀬素子、宮本博美、藤丸秀淨(法事寺住職)、甲斐田 敏、石川久子、中道澄春、兵頭晴喜、高祐二、さかいようこ、三橋理江子、太田登志、保田 薫、森 明子、AIC(ローマ・カトリック系)、玉の肌石鹼(株)、ミヨシ油脂(株)、竹本拓也、豊原大成[全国仏教会前理事長]、石山久男、坂牧弓絃、森川 甫、佐藤紀子(宮城県多賀城)、市川啓一、宮氏道夫、岩間洋、岩間千恵子、沖浦宏隆(千葉県布良)、飛田雄一、廣森勝久、福地弥寿子、田中 操、張 賢徳、大槻良文、櫻井由里子、中山圭子、三宅幸子、加藤恵子。

嶋田博信&礼子(千葉県布良)、(有)本田商会、本田寿久(2)、堤 いつ子、日本キリスト教団芦屋三条教会、(株)大塚製薬工場、大河戸章代、深川昭明(熊本県芦北町吉尾)、高橋一正(3)、湯谷茂樹、西本玲子、日本基督教団神戸栄光教会、春重禪子、KISO 牧場(細川満佐秋)、祐照寺(古川真照住職)、左成和朗、本田すみ代、赤石恵里、伊藤直樹、伊藤ヨシ子(茨城県日光市)、藤原光代、苅部眞砂子(2)、鄭炳采(民団大阪府本部)、相浦恵子、守屋香代子、春原和子、徳留由美、上村和子、愛編クラブ(阪上順子)、河内常男、大谷洋子、永野由美子、「小さくされた人々のための福音」講座(2)、「百万人の福音」、沖縄バプテスト連盟 ルア教会、村上安世、栗原健、柳澤 豊、神部隆三、樋口 實(朝倉市松末)、忠内一由、尾島淳義、杣 浩二、泉とも子、西上千栄子、白方誠彌、石川久子、匿名

489,000円

フードバンク関西からの提供は炊き出しに役立っています。生活協同組合コープこうべからもたくさんの支援物資を提供していただいている。コープ神戸の前田裕保さんから米 20 キロ × 20 を事務所に届けていただきました。YWC Aがウエットティッシュを大量にくださいました。村上裕隆は熊本県球磨郡相良村の田起のため、一輪車ネコ、鍵 4 本を提供。宮城県石巻市の丹野恵子さん、本田巧さんからたくさんの方々にいただきました。川本英次さんからいただいたデコポンを炊き出しで提供。佐々木修 & 貴子さんからの差し入れに感謝。

編集後記

アフリカのケニアの貧しい子どもたちのところに単身、出かけました。陽気な明るさと、近代の貪欲な知略を用いない純粋な現地の人々、雄大な自然のパノラマ、大きなゾウとの出会い。私の心をとらえた大地。いつの日か骨を埋めるならそびえるキリマンジャロのふもとと願っていました。いつもすり切れた服装で、最果ての地にまでホテルに泊まらず、寝袋をもって出かける「カヨ子基金」の創立者岩村義雄を知りました。マスク支援がきっかけで共感しました。日本人が失っていた弱者にやさしい生き方と波長が合いました。東北、千葉、そして熊本の相良に同行しています。

事務局 大河戸章代